日生シップマネージメント株式会社

HSM通信

2026.01.16

70号

HSMニュース

金毘羅詣りに行ってみた！

新年明けましておめでとう御座います！
本年も宜しくお願い致します。

ということで、年始の恒例行事である金毘羅詣りに行ってまいりました。
毎年年始のこのお詣りで引き締まる思いと今年の決意を誓って気合いを入れるとともに、自分の体力の低下・衰えを痛感させられます。
昔は軽々と小走りに駆け上がっていたのに、今は足や腰を押さえながら息を切らしてゆっくりマイペース…

お詣りの後は、これも恒例行事のうどん屋巡り。
今年は2軒だけではありましたが、定番の「白川うどん」さんにも行けたので満足できました！
昨年は行くのが遅くなり大行列の為諦めましたが、今年は肉ぶっかけを堪能しました。
来年は、新規開拓も含めて3軒は行きたいと思います！

保安情報

以前より不定期でアジアを中心とした保安情報をお知らせしておりましたが、今回久しぶりに掲載したいと思います。

やはり最近で気になるのはベネズエラ関連かと思います。
皆さんご存知の通り、年明け早々、米国が1月2日にマドゥロ大統領を拘束してアメリカに連行したというニュースが飛び込んできました。トランプ米政権は反米のマドゥロ大統領に対する圧力の一環として、昨年12月にベネズエラを出入りする石油タンカーの「全面封鎖」を命令し、拿捕作戦を開始していましたが、米国によるベネズエラに対する行動は、激しさを増しており、1月7日にも新たにタンカー2隻を拿捕したとのことです。

直接関係するタンカー市場においては、原油価格や需給バランスの変動により影響があると思いますが、これらの状況が安定化し短期的な影響に留まるのかどうかは今後の米国の対応次第かと思われます。
当社も関係しているドライバルク市場については、直接的な影響は限定的で、間接的にもそれほど大きな波及はなさそうとの見解が多数の様ですが、いずれにしても、米国の対応含め今後の情勢を注視していく必要があります。

他方、アジア地域においても、相変わらずシンガポール海峡やインドネシア、フィリピンなどで武装強盗等がコンスタントに発生している様です。
資料によると2025年のアジア海域における船舶に対する海賊行為及び武装強盗は132件発生しており、2024年の107件から23％増加とのことです。
バングラデシュ、インドネシア、フィリピンの港湾・停泊地における事件数は2024年比で減少しており、インドの停泊地では微増。
また、2007年から2025年までの19年間で、南シナ海・東シナ海（SOMS）における事件数が過去最多を記録したとのことですので、引き続き十分な注意を払っていく必要があります。

このコーナーでは散歩の似合わない男「桑村」がその重い腰ならぬ重い体を上げ、日生やその周辺を散歩！魅力的なスポット・お店などを紹介していくのですが・・・

赤穂・日生は今回もまたまたお休みさせて頂きます。そろそろご紹介できるよう、バッチリ練っている…という事にしておいてください。
というわけで今回も特別編、出張先の「福岡県福岡市」からお届けします！

くわ散歩 第21回：博多名物でお腹も心も満たされた夜。福岡市「博多前炉ばた 一承（いっしょう）」

皆さんこんにちは！くわ散歩では、弊社周辺や近隣、また出張先などのオススメのお店や、まだ知られていない穴場など、様々なスポットを紹介いたします。

大変恐縮ではございますが、今回も、またまたまたまたまた番外編でお送りします。福岡に営業で伺った際に、たまたま見かけてお邪魔したお店を紹介します。

福岡に出張の際、この日はホテル近辺でサクッと食べようということで、近場で探していたところ、たまたま見つけた「博多前炉ばた 一承」さん。（住所：福岡県福岡市博多区博多駅前2-20-1 大博多ビル1F）

JR博多駅からだと徒歩7分程度で、店内はカウンター、少人数の個室、大口の団体にも対応できる席もあるようで、幅広い使い方の出来るお店のようです。

お店の雰囲気は落ち着いた感じで、良い雰囲気でした。色々な席があるのも便利ですね。

席に着くと、写真のはまぐりの鍋が。
「他のお客さんとなにか間違えたのかな…」と思っていると、なんとこれがお通し！この時点で驚きです。火が通って、さっそく一口。はまぐりの旨みがしっかり出た出汁で、これがまた美味しい。お通しでこのクオリティとは…と、一気に期待値が上がります。

続いて運ばれてきたのが、和牛すもつ。酢もつは見かけるとよく頼む定番メニューではあるのですが…

こんな美味しい酢モツ初めて！！！ビックリしました。肉の旨味もしっかり、食感もぷりっぷりとして、タレの酸味も絶妙。
持って帰りたいし、これだけ食べにまた来たいと本気で思う、絶品酢モツでした。

なんだかんだで頼んでしまう「チキン南蛮」

そして定番の博多胡麻サバ！サバも大好きなんです、私。

さばは臭みが一切なく、身はしっとり。普段食べる機会のないごまだれで食べるのも美味しく、ごまだれは胡麻の香りとコクがあり、さばの脂とよく合います。もちろん醤油で食べても間違いなく、薬味も色々ついていて、一皿で色々な楽しみがある一品でした。

博多と言えば明太子ということで、明太卵焼き

そして鍋は・・・本場もつ鍋と悩みましたが、普段なかなか水炊きを食べる機会がないので、この日は水炊きを選びました。

スープは濃すぎず、それでいて鶏の旨みがしっかり出ていて、そのまま飲んでも美味しい。鶏肉は火を通しても固くならず、野菜もたっぷり、スープを吸い込んでいるのがたまらなく、ここまでも十分食べたつもりでしたが、どんどんと箸が進みました。

これまた博多名物鳥皮串。名物だらけです！

うーん、やっぱり博多だな。
九州営業強化しないとな。
と、何度もつぶやいていました。

ふらっと立ち寄ったお店でしたが、ここひとつで博多を満喫できました。味も格別で、お腹も心も満たされました。

お腹の空き具合の都合で、まだ頼めなかった気になるメニューも色々。このお店ではまだもつ鍋も食べていないのと、あの酢モツ・・・ぜひ再度行きたいお店です。今回もごちそうさまでした！

それでは、次回の「くわ散歩」でまたお会いしましょう！

こんちには！
今回は、今日が締め切りだということを完全に忘れていた為、焦って考えはじめたところですが、何も思いつかないので、取り敢えず一杯グビりとやりながらネットボディボード、いやネットサーフィンをしていたら、おもしろい記事を見つけたので、今日はその記事の一部を抜粋して、考察してみたいと思います。

「“できること”をやり続けて満足している中年層に、苦言。40代以降の差はどこで生まれるのか？」

さて、“できること”をやり続けて満足している中年層に、苦言。ということですが、先ずは私が見付けたこの記事の一部を抜粋・要約したものをご紹介したいと思います。

//

筋肉痛の出ない「成功」は、敗北と同じ！
多くの人が年齢を重ねるほどに陥るのが、「できること（＝筋肉痛の出ない仕事）」をやり続け、そこに落ち着いてしまうという現象。早く気づかないと、差が開く一方です！

僕らは想像以上に頑張れる
多くの案件やプロジェクトを抱え、それらが同時期に集中してしまうこともよくあることです。
そして、「アチコチ手を広げた結果、どれも中途半端になってしまう」という事例は世の中、腐るほどあって、そのようなことを懸念してしまうものです。
しかし、いざ蓋を開けてみると、スタッフもその中でも集中力を切らさずに走り続けてくれ、良い方向に進むことは多々あります。この様な好循環は、決して偶然ではなく、長年積み重ねてきた努力やチームの成熟の証なのかもしれません。
もちろん、「スタッフの火事場のバカ力に頼るべきではない」ということは重々承知しています。
それでも、「僕らは想像以上に頑張れる」という手応えを感じることができます。

「筋肉痛」は起こさなければいけない
同時に、「さすがに3件同時進行は無謀だろう」と自主規制を働かせて、かなり手前でブレーキをかけてしまう事で、成長の機会を逃していた可能性もあったことに気づかされました。
「自分たちの限界値を過小評価すること」もまた、挑戦におけるリスクなのだと思います。
「肉離れは起こしてはいけないけれど、筋肉痛は起こさなければいけない」。
この絶妙なラインをどう取り続けるかが、チームを動かすうえで最も重要なテーマなのだと、いま改めて感じています。

ここで、私と同世代(40代)、あるいは私よりも歳上の方にお聞きしたいのですが、最近、筋肉痛って起きてます？
筋肉痛が起きるような働き方を選んでます？
こう聞かれると、結構な方が「うっ」と言葉に詰まると思うんです。
というのも、やっぱり年齢を重ねれば重ねるほど、皆、「できること」をやり続けて、そこに落ち着いてしまうので、筋肉痛なんて起きない。 だけれど、中年以降の差が生まれるのはそこ。

「筋肉痛」を避け続ける人と、「筋肉痛」を選び続ける人と…別の言い方をすると、
「できること」を続ける人と、「できるようになること」を続ける人の差というのは開く一方で、仕事が「できた」からといって安心している場合じゃない（＝筋肉痛が起きていない成功は敗北）というのが今日のお話です。
//

いかがでしょうか？「できること」をやり続けて満足している中年層への苦言は、現状維持では差がつき、筋肉痛が出るような挑戦をしないと成長が止まるというもので、変化の激しい時代に「出来ること」「得意なこと」だけで満足していると、新しい時代を切り拓くチャンスを逃し、大きな差が生まれるという警告が含まれており、「楽な方」に流されずに「痛みを伴う努力」を続ける重要性が強調されています。「できること」を続けているだけでは、成長が止まってしまいます。
「楽」な方を選び続けることは、短期的な満足感は得られても、長期的に見れば未来への投資を怠っている状態であり、その延長線上に未来はないかもしれません。

次ページへ続く

「できること」だけを繰り返す働き方と、あえて“筋肉痛が出る挑戦”を選び続ける働き方の差。
年齢を重ねるほど、人は無意識に安全な方・楽な方へ流れがちです。
そしてそこに成長が止まる原因があるのだと思います。
「筋肉痛のない成功は、敗北と同じ」
正にそうだなと気づかされました。

「出来ないことを出来る様にする」、出来ないことに挑戦して、それを出来る様にする。
そしてまた新たな挑戦（出来ないことを出来るようにする）をする。そうすると気づいたら出来る事がめっちゃ増えてますよね。
「現状維持は衰退」とはよく言われており、皆さんも耳にすると思います。
変化し続ける社会や市場において、現状に留まることは実質的に後退を意味するという考え方です。
何もせず「今のまま」でいようとしても、周りは進んでいくため、相対的に遅れを取り、競争力も失い、結果的に衰えていくことになります。
常に新しい挑戦と試行錯誤を繰り返して初めて「今の状態」を維持できるという考え方で、挑戦しない「現状維持」は存在しないという見方でもあり、個人・組織ともに常に挑戦し進化し続けることの重要性を示しています。

私は、「一般的に難しいだろう」「普通は出来ないだろう」ということをやることに意味があり価値があるのだと思っています。
「皆これなら出来るだろう」「皆はこれをやっている」もしくは「皆はこれをやっていない」、
皆が出来ること・やっていることを同じ様にやってどうするのか…　と思ってしまいます。
「皆はやっていない」「普通は出来ないだろう」もっと言ったら、「皆はやろうともしない・考えもしない」、ことをやることに意味があり、そこに大きな価値・新たな価値が生まれると思っています。
「一般的に難しい」とか、「皆やっていない」とか、「普通はやらない」とか、で判断するのではなく、そのこと自体にどの様な意味があり、どれだけの価値があるのか、将来の為に自分がどうしたいのか・どうするべきなのか、で判断するべきだと考えています。

これも昔から口癖のように言ってきていることですが(周りからは嫌がられますけど)、
「出来ない理由を並べるのではなく、出来る方法を考えよう」
出来ない理由を探している時間があるなら実現する手段や方法を考えた方が前向きで良いし、その方が楽しいと思うのですが。。。
そしてそれをいかに実行するか、思いを実現するには頭も体もフル稼働して実行にうつすのみです。
その為には、相当キツイ「筋肉痛」がおこるでしょうけど、それが大きな成長に繋がるものと思います。

今回もまた長々と偉そうなことを書いてしまいましたが、今回書いた事は結局私自身が全然できておらず、日々自問自答していることでもあります。反省しながら グビりっ 、泣きながら グビりっ 、書いておりました。すいません…
少々耳の痛い内容だったかと思いますが(私は自分で書きながら激痛でした…)、
皆さんはどの様に感じたでしょうか？？？

PS. 最近長男が筋トレにはまっており、徐々にマッチョな体になってきているのをみて、「負けてられない」と思い、自分のだらしない中年太りの肉体を改造しようと、物理的な「筋肉痛」を伴いながら筋トレを少しずつ始めております。
今年中にはマッチョな体を本誌で紹介できるかもしれません。お楽しみに！ グビりっ

今さら聞けない

海運基礎知識　「船舶代理店について」

今回は、「船舶代理店」について取り上げてみたいと思います。
まさに「今さら」であり十分ご存知の方が多いとは思いますが、海運においては大変重要で必要不可欠な存在ですので、今回改めて触れてみたいと思います。

「船舶代理店」て何？

・船舶代理店は、船会社や船長に代わって入港した港での各種手続きや手配を代理して行う事業者の事をいいます。
・港での船舶の入出港手続き、官庁への申請、荷役の手配や乗組員に関わる手配やサービス等、現地で必要な各種手続き等の一部またはその全てを、船会社に代わって円滑に行うサポート業務です。
・代理店には、船社の代理として国内の各港の代理店をとりまとめる総代理店（General Agent）と総代理店の下で、その港の実務を行っている港代理店（Port Agent/Local Agent）とがあり、一般的に「船舶代理店」というと、この港代理店（Port Agent/Local Agent）がイメージされるのではないでしょうか。

「船舶代理店」の業務内容は？

・入出港手続き: 税関、検疫所、海上保安庁、などの官庁への申請や届出。
・各種手配: タグボート、パイロット、綱取業者など、入出港時に必要な各種手配。
・荷役・貨物関連: 荷役作業の手配、荷役状況の確認、船社や荷主への報告・連絡、関連書類の作成。
・船員関連: 船員の交代や上陸に関することや傷病発生時の対応。また、食料や水などの手配。
・船用品関連: 船用品等の積込に関すること、補油に関すること、船用品や部品の手配 等々。
・情報管理: 現地の最新情報や本船スケジュール等の管理、共有。気象海象情報等の確認及び本船提供 等々。
・トラブル対応: 現場で発生する様々な問題への対応。

「船舶代理店」はなぜ必要？

・先ずは、「現地に人がいない」ということ。船社が全ての寄港地ごとに社員を常駐させるのは非現実的で、現地で船社を代理して現場の業務を遂行する人間が必須。
・専門知識が必要であり、且つ現地におけるネットワークも必要。
・各国の出入国管理や港湾ごとのローカルルール、港・錨地・ターミナルごとの慣行など現地事情や手続きを熟知した専門業者が不可欠。
・各種手続きや手配も多岐に渡り複雑である。また、多くの官庁が関わるのでその煩雑な手続きを代行し、円滑な運航を支援できないといけない。
・トラブル発生時の現地対応。現場では予期せぬ出来事が頻繁に発生するので、現地でそれらに対応出来る人間が必須。

以上、非常に簡単ではありましたが、「船舶代理店」について概要を説明させて頂きました。
上記の通り、船舶代理店は現場の専門家であり、現場でのありとあらゆる事案に対応し、正確かつ迅速な手配・手続きを行う船舶の運航において必要不可欠な存在です。
本船の入出港は昼夜問わず行われますし、様々なトラブルが発生する為、必要があればいつでも駆けつけないといけず、且つ迅速な対応が求められるので、精神的にも肉体的にも非常に苦労が多いことと思います。
我々管理会社としましても、日々の業務においてとてもお世話になっており助けられております。

以 上

Hinase Ship Management Co., Ltd.
日生シップマネージメント株式会社
〒701-3202 岡山県備前市日生町寒河2570番地31
TEL/FAX:0869-72-2177/2178 E-Mail:smd@hsm-jpn.com
URL: http://hsm-jpn.com